施設	入力日	①職員へのマスクの配布状況	②マスク非装着患者のリハビリ室来室の 可否について	③リハビリ中止基準などの指針	④カルテ記載など事務業務の環境への配慮など	⑤スタッフの出勤可否の基準	⑥他に気にしている事	⑦自由記載
R総合病院以外の病院	2020年5月30日	全職員1日/1枚	マスク装着は徹底しており、装着できていない患者は来室はしてもらわず、リハビリも行わない。	37.5℃、の熱及び呼吸器症状が出現しているとき。	業務に関わる身の回りの品の消毒の徹底	特に設けていない。		
S施設関係（入所・デイケア・デイサービス含む）	2020年5月30日	1週間に1枚	可能です。	厚生労働省の基準に準じている。	PCの消毒			
T施設関係（入所・デイケア・デイサービス含む）	2020年5月31日	有り	有り	37.5℃以上が新たに追加	特に変わらず。	37.5度以上、味覚臭覚の異常	うがい手洗いの施行、消毒用アルコールによる消毒の徹底。	特になし。
U在宅（訪問事業所・診療所等）	2020年5月31日	間に合っています。	家の中でも、装着をお願いしております。	体温、その他コロナを疑うもの	変化なし。	体温、その他コロナを疑う場合は出勤せず。		
V総合病院（100床以上）	2020年6月1日	原則1日1枚、汚染状況に応じて交換可能	許可しているが、タオルやハンカチなどで、簡易的なマスクをしてもらうこともある。	厳密な基準は設けていないが、スタッフや患者から感染者が出れば、ICTとも連携し対応を考えていく予定。	なるべくカルテ使用時間が集中しないよう、時間を分けるなど工夫している。	・発熱（37.5℃以上）、風邪症状の有無など、病院の基準に準じて対応している。		
W総合病院以外の病院	2020年6月1日	1日1枚	不可	発熱等の症状	特になし	本人、家族が発熱した際には感染委員の医師に相談	手洗い、うがい、グローブ装着、除菌シートでの拭き取り、患者の検温	外来、入院の担当のチーム分け
X総合病院（100床以上）	2020年6月1日	1日1枚	全員装着	特になし	病棟ごとの配置	37度以上の発熱は出勤禁止		
Y施設関係（入所・デイケア・デイサービス含む）	2020年6月1日	定期的に配布	個別対応時はお互いにマスク着用を義務づけしている	ホーム内のご入居者であるため、特に設けていない	パソコン回り等の拭き掃除の徹底等の基準あり	発熱やコロナを疑う症状や、感染者との濃厚接触の有無など、基準あり。	出勤時の手指消毒、外来者の制限	
Z施設関係（入所・デイケア・デイサービス含む）	2020年6月1日	1日1枚	否	37.5度以上の発熱	定期的な換気	37.5度以上の発熱		
1.施設関係（入所・デイケア・デイサービス含む）	2020年6月1日	今なし	リハ室なし	リハなし	特にしていない	発熱・風症状		
2.総合病院以外の病院	2020年6月2日	1日1枚	否	37.5℃以上	向かい合わない、話さない	体調不良時は休む、家族内に感染者が出れば待機		
3.総合病院以外の病院	2020年6月2日	2日に1枚	来室時にマスクを所持されていない場合もありますので，可能としています．しかし，可能な限りマスクの装着を促しています．所持されていない場合，セラピストがマスク装着，アイガードもしくはフェイスガード装着下にて対応しています．	院内感染対策マニュアルを順守しながらリハビリ部署独自にマニュアルを作成し，その指針に沿って判断しています．具体的には， （入院患者） リハビリ実施前に，電子カルテ（経過表），担当看護師への聞き取りなどから体温などのバイタルを確認．本人に直接体調確認の上，発熱，体調不良が認められる場合は主治医に確認の上中止とする． （外来患者とその同伴者） 来院前の検温．リハビリ実施前の検温，体調確認を実施． ①呼吸困難，倦怠感，高熱などの強い症状 ②重症化の可能性がある方で，発熱や咳などの比較的軽い風邪症状 ③発熱や咳など比較的軽い風邪症状が続く（4日間以上） ＊厚労省による5月8日以降の基準に従う． （訪問リハビリ） ・訪問担当者が訪問前に，事前に検温を依頼し，もし発熱ある場合，体調不良がある場合は事前連絡をもらう． ・訪問担当者が訪問時は，利用者本人と訪問リハ実施中の同室者は検温と体調不良の有無を確認．（同室していない同居家族の体調については，すべて検温せず聴取にて確認） ①呼吸困難，倦怠感，高熱などの強い症状 ②重症化の可能性がある方で，発熱や咳などの比較的軽い風邪症状 ③発熱や咳など比較的軽い風邪症状が続く（4日間以上） ＊厚労省による5月8日以降の基準に従う．	従来，電子カルテのPCは密に設置しておりませんので，配置などは従来通りです． 電子カルテのPCなど共有部分の消毒は1日に複数回実施しています．	・院内感染対策マニュアルを順守しながらリハビリ部署独自にマニュアルを作成し，入院，外来，訪問の各業務運営についてのフローチャートを作成した．その内容は，随時更新しながら運用しています． ・感染対策について留意している点は以下の通りです． 〇スタッフ個人レベルでの感染対策の徹底 ・業務中のマスク着用，手洗いの励行，毎朝の体調確認と検温，他厚労省が推奨する対策 休暇中の過ごし方についても三密を避けるように注意する． 〇組織レベルでの感染対策の徹底 ・リハビリ訓練終了後に使用したベッド，物品などを患者ごとにその都度消毒する． ・毎朝始業前と昼休憩時に，リハビリセンター内の共用部分（PCのキーボード，マウス，　ドアノブ，待合の椅子，トイレのドアノブ，スタッフルーム内の冷蔵庫，電子レンジ，　戸棚など多く触れる箇所など）を消毒する． ・スタッフルーム内でのスタッフ間の会話も常時マスク着用で行う．会議室内でのカン　ファレンスも席を空け，常時マスク着用で実施する．（必要最小限の時間に留める） ・スタッフルーム内での飲水，昼食時（マスクを外す時）は，スタッフが互いに2m離れ　てできるだけ会話をせずに摂食することとする． ・リハビリセンター,スタッフルーム，会議室の換気を常時行う． ・眼部の粘膜保護について ①口腔ケア，間接的摂食嚥下訓練，呼吸訓練等，口腔付近に直接的にアプローチする場合　は，フェイスシールド着用とする． ②相手がマスク非着用での通常の訓練は，伊達メガネなどの保護具を着用とする． ③相手がマスク着用下で，通常の訓練の場合は，保護具は不要とするが，個人の判断で伊達メガネなどの保護具は着用しても良いこととする．	現在の対策をどうなれば緩和・解除していくのか、出口の部分での判断が難しい。	
4.総合病院以外の病院	2020年6月2日	1週間に2枚配布	可能。 関わる職員は全員装着にて対応。	アンダーソン・土肥な基準＋37.5度以上は主治医に確認。	マスク着用の上、3蜜にならないよう配属毎に部屋を分け、換気、2m以上離れる、向かい合わない、接触する場所、機器のクリネルでの清掃等実施。	発熱(37.0度以上)、咽頭痛、倦怠感、頭痛、咳、下痢、嘔吐、味覚臭覚異常等の症状がある場合は出勤不可。	日々の健康管理(体温、その他症状の確認)	
5.総合病院以外の病院	2020年6月2日	全員に配布できている	入院患者のみマスク非装着にて来室	コロナウイルスが疑われる場合	変わりない	コロナウイルスを疑われる症状、陽性患者と濃厚接触があった場合	開始時の消毒、終了時の手洗いの徹底	外来リハの基準を作成中
6. その他	2020年6月2日	有	可	無	有	有		
7. 在宅（訪問事業所・診療所）	2020年6月2日	サージカルマスクの配布あり、 一時期在庫が少なくなりましたが、医師会からの配布などにより現時点では問題はありません	デイケア、訪問リハビリの際にはマスク着用をお願いしています。時折マスク着用されないかたもいらっしゃいます。	37.3℃以上の発熱、咳などの風邪症状の場合	特になし	37℃以上の発熱、風邪症状がある場合は休み	37℃以上の発熱、風邪症状がある場合は休み	
8. 在宅（訪問事業所・診療所）	2020年6月3日	週に3枚	装着を依頼しているが非装着を拒否するものではない	乾性咳嗽、37.5℃以上の発熱	次亜塩素酸での拭き取り	37.5℃以上の発熱、感冒症状にて院長に出勤前に相談する。	換気、業務間、業務終了後の消毒	
9. 総合病院以外の病院	2020年6月3日	6月より1人当たり、1枚/日	外来患者は不可、入院患者で熱発等なければ可	37.5℃以上	換気の徹底	37.0℃以上の熱発で出勤不可	外来リハ受け入れしているが、入院患者と場所分け	
10. 総合病院	2020年6月3日	1日一枚	可	37.5度以上は不可、リハビリ見学家族不可	間引いて実施	37.5度以上不可、感冒症状者不可		
11. 総合病院	2020年6月4日	医療用マスクは2日で1枚。非医療用マスクは1日3枚。	可	コロナの疑いの段階では介入せず。 診断確定後から開始。	特になし	風邪症状があれば休む。発熱があった場合は、解熱後48時間以後に出勤。	手指衛生の徹底 リハビリ室清掃(消毒)	患者間距離を開けるように、機材の配置換え
12. 総合病院	2020年6月4日	一日一人一枚	基本装着	37.0度以上の熱発がある場合は出勤を見合わせる	ソーシャルディスタンスを保つよう指導あり	37.0度以上の熱発がある場合は出勤を見合わせる		
13. 総合病院	2020年6月4日	1日1枚	マスクなしでも可	コロナ疑い、PCR結果が出るまではリハビリ中止。37.5度以上は病室で。	部屋の換気、パソコンキーボードの消毒	感冒様症状や37.5度以上は休業。2日以内に改善した場合は48時間後に出勤可。	朝の体温を測定し、出勤後用紙に記載。 スタッフの昼食時間をずらす。 時差出勤可。 物品は患者毎に使用前にアルコール消毒(ボバースベッド、平行棒、歩行器、椅子…など。コロナ対策関係なく以前から実施)。 肺炎患者、咳が多い患者に対してはN95使用。	
14. 総合病院以外の病院	2020年6月4日	1日1枚	適宜お渡ししている	病院の基準に合わせて外来患者は中止している	入力時間帯を調整している	体温及び風邪症状の有無で判断	スタッフの行動履歴	中止基準の確立
15. 総合病院以外の病院	2020年6月5日	月に15枚配布	必須とし、マスクがない方は受付で布マスクを渡している	受付で検温を実施 患者様の家族や職場同僚に感冒症状がみられる場合は事前に連絡をして頂き、医師の判断を仰ぐ	事務作業時間の分散 PC、電話機等の消毒	発熱があれば管理者に連絡　必要に応じてCTで肺炎像の有無、PCR検査	リハ室は人の出入りが多く、プラットホームや治療台に上がるために靴を脱ぎ履きする機会も多いため、靴の消毒、床の消毒も必要かなと思っています。靴によってウイルスが院内に伝播されるという話もあるので。	
16. 総合病院	2020年6月6日	1日1枚使用	可能	37.5度以上、感冒症状がある場合	窓を少し開けて換気	感冒症状や体温が37.5度以下であること	職場独自の活動制限の通達があり	
17.総合病院以外の病院	2020年6月7日	自前	2～3人程いる。その方々に対しては医院がマスクを与えて装着させている	体温37.5℃以上 自覚症状	元々、2m以上離れてカルテ記載をしている	自覚症状、体温37.5℃		
18. 総合病院以外の病院	2020年6月8日	1日1枚	不可	発熱状況等により判断	病棟毎に使用できる電子カルテを制限、机に間仕切り配置	37.0度以上の発熱があれば出勤不可		
19.総合病院	2020年6月8日	あり　週2～3枚	基本不可	発熱　風邪症状	ほぼ通常通り	風邪症状、発熱37.5以上は休み	手洗い励行、　密を避ける	
20. 学校	2020年6月9日	自身で用意	学生と仮定して支給	発熱、倦怠感などで欠席	教務室以外での業務可	学生と同様		
21.総合病院以外の病院	2020年6月9日	週2から3枚	否	風邪症状や海外渡航歴がある場合は2週間経過観察	スタッフ間の密を避けて、リハビリ室などで対応	発熱、風邪症状ある場合は、数日経過観察		
22. 総合病院	2020年6月9日	週に二枚	否	体温チェック37.5以上、体調の有無	席の配置変更、対面なし	体温チェック、体調の有無	微熱や咳の有無	
23. 総合病院以外の病院	2020年6月12日	あり	否	外来患者の感染、またはスタッフの感染	特になし	家族に感染者疑いがあれば、自宅待機 37.5度以上の発熱は、疾患の有無に関わらず自宅待機	フェイスシールド着用	
24.総合病院以外の病院	2020年6月12日	3日に1枚使用	通常通り	わからない	特になし	発熱が37.5以上の人		
25. 総合病院以外の病院	2020年6月12日	3日に1枚	必ず着用	なし	フェイスシールド	体温測定	手洗いうがい	
26. 総合病院以外の病院	2020年6月15日	2日に1枚	不可	37.5度以上の発熱など	使用ごとにふく	行動記録をつけ、熱発などの症状があれば休み	三密をさけ、病棟ごとでリハビリを行なっている	学生の対応
27. 総合病院	2020年6月16日	100%	否	37℃以上の熱発　咳	特記なし	37℃以上の熱発 感冒症状	入院、外来でリハ室使用を時間で区分	
28. 総合病院	2020年6月17日	有り	着用誘導	有り	密を避ける	発熱などの症状確認		